

【授業科目】臨床細胞学総論Ⅱ Clinical Cytology Ⅱ

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
白石泰三、澤田浩秀	2年次後期	選択	2	30	講義	あり	巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対するフィードバック方法	<p>授業概要／細胞検査士を目指す者にとって、細胞診断学の基礎について学修する科目である。細胞検査士は、さまざまな臨床検体の中から異型細胞などを見出し、その異型細胞が悪性であるかどうか、さらに異型種類を同定することを業務とすることから、医療現場での需要が高まっている。本科目では、臨床細胞学総論Ⅰに続き細胞診断学の基礎を教授する。本科目では、婦人科系、呼吸器系、消化器系、泌尿器科系、乳腺・甲状腺、骨・軟部腫瘍、脳腫瘍といった各系統別に、関連する疾患の概要を解説するとともに、系統別に正常および異型細胞の細胞学的特徴を教授する。</p> <p>*実務経験を持つ教員が授業を進める。</p> <p>課題に対するフィードバック方法／レポート提出を課した場合は、提出されたレポートにコメントを付けて返却する。</p>							
授業の位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー①「臨床検査の専門性と責務を自覚するとともに、地域に住むあらゆる健康レベルの人々に専門的知識と技術に基づき臨床検査を実践できる。」の達成に寄与している。</p>							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<p>① 婦人科系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、乳腺・甲状腺などの系統別に、各疾患における病理学的特徴および細胞学的特徴が理解できる。</p> <p>② 婦人科系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、乳腺・甲状腺などの系統別に、各疾患における細胞判読に必要な知識が理解できる。</p> <p>③ 各疾患における細胞像が判読できる</p>							
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本科目の履修には、解剖組織学、血液学、免疫学、生理学、病理学、病理検査学、臨床細胞学総論Ⅰの基礎知識を必要とするため、これらの科目を十分学修する必要がある。 ・ 毎回の授業に対する予習、復習を必ず行うこと。 ・ できるだけ教科書、配布資料に記載された細胞像をよく読み、理解を深める必要がある。 ・ 1回の講義につき、60分程度の予習および120分程度の復習を行うこと。 <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	<p>第1回 細胞判読に必要な基礎病理（封入体、化生、再生、代謝障害、炎症）</p> <p>第2回 婦人科系疾患の病理および細胞学的特徴（子宮頸部疾患）</p> <p>第3回 婦人科系疾患の病理および細胞学的特徴（子宮体部疾患、卵巣疾患）</p> <p>第4回 呼吸器系疾患の病理および細胞学的特徴</p> <p>第5回 消化器系疾患の病理および細胞学的特徴</p> <p>第6回 泌尿器系疾患の病理および細胞学的特徴</p> <p>第7回 乳腺・甲状腺疾患の病理および細胞学的特徴</p> <p>第8回 骨・軟部腫瘍、脳腫瘍の病理および細胞学的特徴</p> <p>第9回 造血器・リンパ節疾患の病理および細胞学的特徴</p> <p>第10回 細胞判読（婦人科系）</p> <p>第11回 細胞判読（呼吸器系）</p> <p>第12回 細胞判読（消化器系）</p> <p>第13回 細胞判読（泌尿器系、体腔液）</p> <p>第14回 細胞判読（乳腺、甲状腺、その他）</p> <p>第15回 まとめ</p>						<p>白石</p> <p>白石</p> <p>白石</p> <p>白石</p> <p>白石</p> <p>白石</p> <p>白石</p> <p>白石</p> <p>白石</p> <p>白石</p> <p>澤田</p> <p>澤田</p> <p>澤田</p> <p>澤田</p> <p>澤田</p> <p>澤田</p>	
評価方法 評価基準	<p>成績は以下の評点配分によって総合的に判断する。</p> <p>学期末試験100%</p>							
教科書	『改訂新版 臨床検査技師を目指す学生のための細胞診』 医療科学社 ※2年前学期「臨床細胞学総論Ⅰ」で使用したものと同一			参考書等		『細胞診を学ぶ人のために 第6版』 医学書院 『～基礎から学ぶ～細胞診のすすめ方第4版』 近代出版		
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細胞検査士養成過程に進む学生にとっての基礎的科目であり、希望する学生は受講を必須とする。 ・ 細胞検査士養成過程に進む予定がなくとも、できるだけ多くの学生に受講を勧める。 							